

令和4年度警察庁行政事業レビュー 公開プロセス 結果

事業名	評価結果		取りまとめコメント
取調べ録音・録画装置の整備	事業内容の一部改善	4	事業内容の一部改善
	事業全体の抜本的な改善	2	
特殊詐欺対策の推進	事業内容の一部改善	6	事業内容の一部改善

- デジタル化、クラウド化の可能性については引き続き検討を進めてほしい。
- 使用量(練習を含む)と故障リスクの関係について分析を行うべきではないか。
- 警察署によって利用頻度に差があるものと思われ、耐用年数だけでなく、累積使用時間などを参考に、更新タイミングの適正化をはかっていただきたい。
- 今後は可搬型の購入を増やし、また、最新技術を生かして小型化する等の仕様の工夫に努力してほしい。
- 一者応札の改善等に向けて、各都道府県で追加の仕様を加えずに調達する等の見直しも必要ではないか。

- 効果の測定は、当該事業単独ではなく、一件阻止した場合にかかったコストを比較するなど、他の施策との比較での検討が必要と思われる。
- コールセンターから金融機関及びコンビニに対するより効果的な警戒依頼方法を検討してほしい。
- 間接的な効果も含め、実際の効果を数値化して説明できるようにしっかりと検証結果を整理してほしい。
- 効果測定の方法について引き続き検討をしてほしい。
- ほかの犯罪類型とのバランスの中で、どの分野に資源配分すると日本の治安が効果的に維持できるのかを考えた警察全体の資源配分戦略が必要ではないか。